

## おとなしくなった息子たち…

原発事故の被害で県北地方に避難しています。小学5年と2年の息子たちは避難後、家でも転校先の学校でも妙におとなしくなっています。それまでは派手な兄弟げんかで親を困らせ、学校ではやんちゃをして先生方のおしかりの対象になっていました。心配です。(元相馬郡・母親)

の先生方は、子どもたちが授業中、無駄話をせずよく考えるようになり、休み時間も落ち着き、家庭学習の時間も増えたとおっしゃっています。避難による家族の苦難やこれからの生活への不安などを子どもながらに乗り越えようとする意志、さらには親や先生方に心配や迷惑をかけまいとするけなげさが精神的な成長をもたらしていると言ってよいと思われれます。

一方、一家の避難、転校によるカルチャーショック、友達となじめないこと

## 回答者

学校心理士

臨床心理士

海野 和夫

理由の一つに  
精神的な成長

これも大震災による子ども  
の心と行動の変化ととら  
えてよいと思います。考え  
られる理由の一つとして、  
精神的に成長したというこ  
とが挙げられます。

被災地の何人かの小学校

などにより、精神的に押し  
つぶされ元気がないなどの  
理由も考えられます。しか  
し、日常生活上の不安が  
軽減され新しい環境にな  
じめば、より成長した活発  
で元気な子どもになるので  
はないかと思えます。なる  
べく早くこれまでの日常性  
を取り戻すことを祈りま  
す。